

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせた作成も可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名： 広島県立廿日市特別支援学校

活動名： 廿特版アクション・プラン
 資質・能力「はつかいち」の追求

解決すべき課題：平成 26 年度に広島県教育委員会は「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を策定し、変化の激しい 21 世紀の社会を生き抜くために必要な資質・能力の育成を目指した、主体的な学びを促す教育活動を推進している。このことについて、平成 28 年度の本校の現状から次の 2 点の課題が挙げられた。
 1 育成したい資質・能力を、学校教育目標や学習指導要領を踏まえて明確に示す必要がある。
 2 育成したい資質・能力を目指した組織的な授業改善とカリキュラム・マネジメントを継続して実施するための「枠組み」を作成する必要がある。

目標・方針： 1 目標 児童生徒の人生の質の向上
 2 方針 平成 28 年度 育成したい資質・能力「はつかいち」の策定、教務部及び研究部の主任・副主任等並びに管理職で構成する「学びの変革担当者会」の発足(図 2)
 平成 29 年度 指導略案及び単元計画の改善、「授業づくり資料」の作成(図 1)
 平成 30 年度 「1 学年 1 授業」の実施
 令和元年度 授業改善の P D C A サイクルと教育課程の改善の P D C A をつなぐ枠組みの構築及びそれに基づく研究推進(「授業改善等 7 つのステップ」)(図 3)

活動内容：
 ・育成したい資質・能力「はつかいち」を策定し、指導略案や単元計画に明記するよう様式を作成・改善した。
 ・「学びの変革担当者会」を発足し、教育課程の組織的な改善を行った。
 ・「1 学年 1 授業」や研究に係るアンケート調査等を毎年度実施し、全教職員での研究推進に取り組んだ。
 ・「授業改善等 7 つのステップ」を策定し、授業づくり資料と単元計画や指導略案等を結びつけた。(図 4・5)

活動の成果：【令和元年度の教職員アンケートの結果より抜粋】
 「児童・生徒に育成したい資質・能力をより明確にすることができた」…87.6%
 「単元計画の活用によって年間指導計画の改善が図れた。」…90.5%
 ・上記のことから、学びの変革担当者会を中心とした「授業改善等 7 つのステップ」の周知及び活用により、授業改善の P D C A サイクルと、教育課程の改善の P D C A をつなぐ枠組みを構築することができた。

アピールポイント (アイデアや工夫)：
 ・知的障害教育の中核をなす生活単元学習においては、育成したい資質・能力「はつかいち」を意識した授業を実施できるように、小学部から高等部までの内容をまとめた「生活単元学習 12 年間の単元配列表・単元内容系統表」(図 6)を毎年作成している。
 ・令和元年度の公開授業研究会では県内外から 200 名以上の参加があり、本校の取り組みへの関心の高さを実感し、また深化に向けた議論をすることができた。
 ・学習評価への信頼性・妥当性を高めるために、育成したい資質・能力「はつかいち」についての保護者アンケートを毎年実施し、学校教育目標や目指す児童生徒の姿に対する共通の理解を図っている。
 ・学校ホームページ内「『学びの変革』アクション・プラン」において、研究に係る全情報を公開している。

